

# おち町

No. 100

2012年5月1日発行  
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN



越知小学校入学式

3P 平成24年度一般会計 45億4474万円  
中学校体育館・プール改築などに7億5000万円

8P 町長給料、議員報酬等の引き上げを否決

10P 県内一の介護保険料

11P 議員定数 10 人に (次の選挙から2人減)

12P 高齢化対策や防災対策を7人が質問

22P 野老山と大桐地区で住民と意見交換 (地区別懇談会)

# 中学校屋内運動場・プール改築 工事に7億5000万円



## 平成24年3月定例会

### 町長給料、議員報酬等の 引き上げを否決

〔8面に関連記事〕

3月定例会は、9日から14日までの会期で開き、町長など特別職給料と議員報酬の引き上げ案3件を賛成5人、反対6人で否決し、平成24年度予算9件、平成23年度補正予算4件、介護保険料の引き上げ〔10面に関連記事〕などの条例改正案7件を全会一致で可決しました。

### 議員定数2減〔11面に関連記事〕

次期改選から議員定数を10人とする改正案を全会一致で可決しました。  
一般質問〔12面から〕は7人が登壇し、高齢者対策や防災対策、道路整備などについて、執行部の考えをたずねました。

### 越知中屋内運動場・プール改築工事

中学校の屋内運動場とプールは、老朽化と危険性が指摘され、本年度に現施設の解体を含め約7億5000万円で改築する。

鉄筋コンクリートと二部鉄骨構造の4階建てで、1階が雨天練習場、ランニング場、駐車場。2階がプール。3階が屋内運動場。4階がギャラリーとなる。

屋根には太陽光発電を備え、エレベーターの設置や内装には県産木材を使い、プールの水は消火用利用できるなど、環境や防災面にも配慮した施設となる。

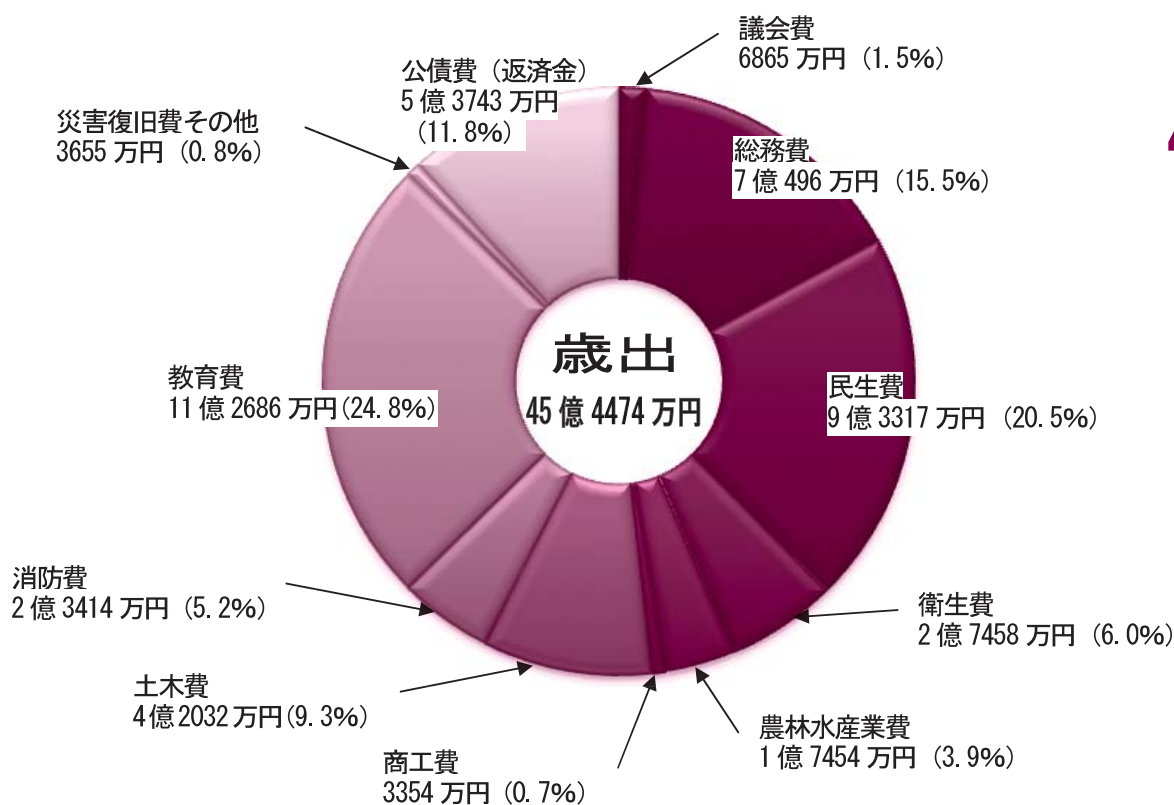
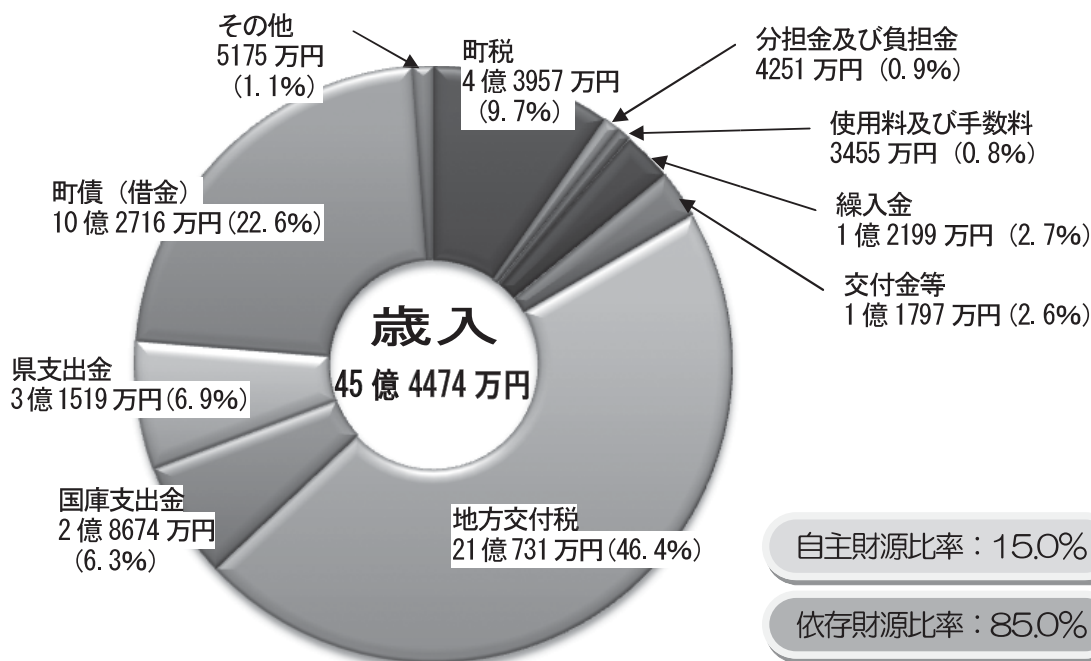
（写真奥がプール、手前が屋内運動場）

## 平成24年度予算

会計名	予算額	前年度予算額	増減	可否	
一般会計	45億4474万円	40億2213万円	5億2261万円	賛成・全員	
特別会計	簡易水道	7684万円	1592万円	6092万円	賛成・全員
	下水道	1億4506万円	1億5175万円	△669万円	賛成・全員
	国民健康保険	8億6122万円	8億4857万円	1265万円	賛成・全員
	介護保険	10億7673万円	10億1393万円	6280万円	賛成・全員
	後期高齢者医療	1億425万円	1億218万円	207万円	賛成・全員
	土地取得	51万円	17万円	34万円	賛成・全員
	蚕糸資料館	24万円	21万円	3万円	賛成・全員
	自然の森博物館	2693万円	2627万円	66万円	賛成・全員
企業会計（水道）	5831万円	5194万円	637万円	賛成・全員	
合計	68億9483万円	62億3307万円	6億6176万円		

# 平成24年度一般会計

# 45億4474万円



町 税	町民が納める税金 (町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税)
繰 入 金	町の貯金を下ろして使うお金
交 付 金 等	消費税やガソリン税などから地方へ配分されるお金
地 方 交 付 税	自治体運営の均衡を保つため、国税 (所得税、法人税、酒税など) の一部から配分されるお金
国・県支出金	決まった目的に使うため、その費用の一部または全部が国や県から交付されるお金
町 債	町が事業を行うため、費用の財源不足を補うために借り入れるお金
公 債 費	町が借り入れたお金 (町債) の返済金
自 主 財 源	町が自前で賄うことができるお金
依 存 財 源	地方交付税や町の借入金、国・県の補助金などに頼るお金

# 平成24年度

# 主な事業

費目	事業内容等(新は新規事業)	金額
総務費	新 地域おこし協力隊員報酬(1人着任)	198万円
	緑のふるさと協力隊負担金(1人着任)	136万円
	新 3区町営住宅林屋敷団地(仮称)測量・地盤調査・設計委託料	6400万円
	新 滝上町友好交流事業費補助金	100万円
	新 高吾北広域組合負担金(地域生活支援バス購入費)	658万円
民生費	あったかふれあいセンター事業委託料	971万円
	社会福祉協議会補助金	1300万円
	後期高齢者医療給付費負担金、県後期高齢者医療広域連合共通経費負担金	1億4963万円
	国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業の各特別会計への繰出金	2億7257万円
	新 電気軽自動車1台購入(保育園)	280万円
	子どものための手当(子ども手当)	7236万円
衛生費	予防接種委託料(定期、子宮頸がん、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンなど)	1358万円
	一般廃棄物収集運搬委託料等	1491万円
	新 飲料水供給施設改修工事(上流地区と梶ヶ奈路地区)	3610万円
農林水産業費	新 青年就農給付金	315万円
	林道開設工事(加枝ヶ谷横倉線、白石横倉線)	4355万円
商工費	新 仁淀川流域観光協議会負担金	103万円
	観光協会補助金および情報発信等整備補助金	1370万円
	新 おち駅2周年記念イベント補助金	90万円
土木費	道路橋りょう新設改良費	1億9630万円
	(町道山室線改良工事ほか落石防護、側溝改修、待避所設置工事など)	
消防費	新 高吾北広域消防庁舎新築工事負担金	4836万円
	新 倒壊家屋建築工事(3町合同の救出訓練用)	3130万円
	新 桐見川ヘリポート新設工事	
	新 防災備蓄倉庫建築工事(町民会館南側に建築)	
教育費	新 越知中屋内運動場及びプール改築工事、同解体工事、太陽光発電設置工事など	7億5372万円
	新 防災ヘルメット(小学生290人、中学生155人)	206万円
	新 本の森図書館耐震補強及び増改築工事	4500万円
	新 地域伝統芸能等保存事業(桐見川地区七夕祭り映像保存)	155万円
	新 中学生韓国派遣事業補助金(中学2年生修学旅行)	325万円
公債費	公債費(借入れ金の返済)	5億3743万円

# 越知町公認ドッグスカレーでPR

総務費



野球ひとすじ、カレーは牛すじ「ドッグスカレー」おいしく好評です



**武智龍議員** 高知FD広  
告事業の内容は、  
**小田企画課長** 選手の帽子や公式戦の横断幕に町の文字を入れ、チケットにおち駅や博物館のPRをしている。  
今年、帽子や看板以外の広告も計画している。また、町の山椒やあか牛を使ったレトルトカレー（ドッグスカレー）がもうすぐできる。

## 町税の見通しは

**武智龍議員** 町税が対前年比1100万円増えたということだが、今後の見通しは。

**片岡税務課長** 近年、町民税が年間平均5%ぐらい下がっていたが、23年度は農業所得、営業所得が増額した。

今後は、確定申告を基に24年度の税額が決まるので、それを待たないと分からない。

固定資産税は24年度が評価替えの年だが、本町は路線価が7%ぐらい減額しているの、下がると思っている。

## 3区に町営住宅

**武智龍議員** 3区の林屋敷団地は、3、4階建てのマンション形式では住民のコミュニティが作れないと思うが。

**吉岡町長** コミュニティの場はできるような設計にしたい。  
内装は、人にやさしい木材をできるだけ使う。

## 佐川・落出間のバスを買い替え

**岡林学議員** 高吾北広域事務組合特別負担金の地域生活支援バス購入費はどういうものか。

**大原総務課長** 国道33号の佐川・落出間を走っているバスが老朽化したため、広域町村事務組合で買い替える費用を3町が負担する。



沿線住民の足として欠かせない定期バス

## 緑のふるさと協力隊で地域が元気に

**武智龍議員** 緑のふるさと協力隊員の効果は。

**小田企画課長** 町外の若者が本町に住むことで、今までになかった風と空気が生まれ、地域が元気になった。

緑のふるさと協力隊は全国的に50%を超える定住率もあり、そういうことも期待する。

## 滝上町との交流

**山橋正男議員** 滝上町友好交流事業補助金100万円の内容は。

**小田企画課長** 民間交流で10人程度を予定し、70%くらいを補助する。



滝上町との友好交流10周年を祝う

民生費

保育園に電気軽自動車を購入

**斎藤政広議員** 電気自動車はどういう目的で使うのか。

**岡林住民課長** 住民課の公用車が1台使えなくなり、出張が多い保育園の公用車とする。



保育園入園式(4/5)

緊急通報装置  
49人が利用

**高橋丈一議員** 緊急通報サービス事業の利用者数と補助金の内容は。

**岡林住民課長** 最初の電話回線の取り付け費の1万5000円と月21000円の保守点検等の委託費を60台分計上している。現在の利用者は49人。

商工費

おち駅の指定管理者に商品開発を

**武智龍議員** おち駅の指定管理者の委託契約書に観光案内や商品開発などの事項を盛り込むことはできないか。

**小田企画課長** 施設の管理業務の契約であり、観光案内などは、本来観光協会がやるべき業務である。話し合いの中で指導はしていく。

おち駅に新型レジを導入



新型レジで消費者と生産者の利便性を図る

**斎藤政広議員** おち駅レジ借上料と観光協会情報発信等整備補助金の内容は。

**小田企画課長** 品目別に登録して、売り上げ品目別に集計でき、何が売れているかが分かり、売り上げをメール配信できる新型レジを備え、そのリース料を町が負担する。情報発信は、観光協会のホームページにカヌー等の申し込みシステムを入れるための補助金。

農林水産業費

林道白石横倉線  
25年度完成

**斎藤政広議員** 林道白石横倉線開設工事は、あと何年かかるか。  
**小田産業建設課長** 残り547メートルで平成25年度完了の予定。

家畜頭数が減る

**西川晃議員** 家畜農家巡回指導負担金が減っているか。

**小田産業建設課長** 頭数が減ったため、獣医への謝礼で、サービスは変わらない。

土木費

工事は前倒し発注を  
**寺村晃幸議員** 道路工事は今年度も前倒し発注をするのか。

**小田産業建設課長** 23年度の繰越工事との兼ね合いもあるが、今の経済状況を考え、可能な限り早めに発注したい。

山室線 25年度完成

**片岡清則議員** 町道山室線の完成時期と町道バラガタキ線の終点位置と施工年数は。  
**小田産業建設課長** 町道山室線は25年度完成予定。町道バラガタキ線の終点は熊秋集会所の少し手前で、25年度に完了の予定。

教育費

# 七夕祭りを映像保存

桐見川



地域の催しは大切な財産

**斎藤政広議員** 文化財保護費の地域伝統芸能等保存事業の内容は、  
**高橋教育次長** 宝くじ助成金100万円を使い、桐見川地区の「七夕祭り」の映像を保存する。

子どもたちへ防災ヘルメット

**斎藤政広議員** 教育振興費の需用費の内容は、  
**高橋教育次長** 地震などの緊急時のため、小中学校に折りたたみ式の防災用ヘルメット、幼稚園と保育園には防災頭巾を全員に備える。

中学校に図書支援員

**岡林学議員** 中学校費の学校図書館支援員と特別支援員の内容は、  
**高橋教育次長** 図書館支援員は、現在小学校に1人配置しており、新たに中学校に1人配置する。特別支援員は、2人予定している。

消防費

桐見川へリポート着工  
**斎藤政広議員** 桐見川へリポートの工事内容は、  
**大原総務課長** 現在、作業班が造成工事中で、その後の舗装工事である。



年度内完成を目指す

倒壊家屋の救出訓練

**武智龍議員** 木造倒壊家屋建築工事は、倒壊した家を建築する工事か。  
**大原総務課長** 3町（佐川・仁淀川・越知）合同で、倒壊家屋の中に閉じ込められた人を救出する訓練のため、その倒壊家屋を造る工事である。

特別会計

国民健康保険会計

**斎藤政広議員** 去年と比べて1・5%増の予算だが、ここ数年の当初予算の伸びと被保険者数の推移、基金残高はどうなっているか。  
**岡林住民課長** 表参照。

年度	当初予算	被保険者数
21	7億7990万円	1997人
22	8億4047万円	1917人
23	8億4857万円	1808人
24	8億6122万円	1760人

基金残高は12月末で1億3147万円。

介護保険会計

**斎藤政広議員** 当初予算が対前年6・2%増で、県内一の介護保険料になるが、ここ数年の当初予算と予算に対する認定者1人当たりの必要額は、  
**岡林住民課長** 表参照。

年度	当初予算
21	8億9949万円
22	9億6887万円
23	10億1393万円
24	10億7673万円

平成24年度の第1号被保険者数2650人のうち、介護認定者数は592人で、1人当たり約182万円となる。

下水道会計

**武智龍議員** 長寿命化実施詳細設計の内容は、  
**北添環境水道課長** 汚水の中のゴミを取るスクリーンや脱臭装置などの改修を24年度に設計し、25年度に工事をする。

# の引き上げを否決!

いずれも  
賛成：5  
反対：6



## 否決 議員報酬の引き上げ

反対討論

山橋正男

**町民の大多数が反対**

1次、2次産業の不振で、商店街はゴースタウンのようだ。

年金暮らしの人は、細々と苦しい生活で、介護保険も引き上げられる。

町民の大多数から反対の声があり、議員の資質が問われる。

賛成討論

藤原俊夫

**同規模人口では最低**

全員協議会で、町長から説明があり全員が了解していた。

住民懇談会でも県内の議員報酬や町長給与を示している。

本町議会は今までに3回報酬を下げており、県内では下から2番目で、同規模人口では最低だ。

反対討論

斎藤政広

**なぜ今なのか**

特別職報酬等審議会の答申は尊重するが、町民感情からすれば、単純に他町村との比較や減額を復元するというだけでは「なぜ今なのか」ということを強く感じる。

賛成討論

寺村晃幸

**審議会の答申を尊重**

国の三位一体改革などにより、過去3度にわたる報酬を削減している。

議員定数も段階的に縮小し、今回も2人削減した。

特別職報酬等審議会の「平成17年度の水準に戻すべき」との答申を尊重するべきだ。

反対討論

片岡清則

**議員へのお手盛りだ**

前回の議員選挙と町長選挙は無投票になった。町民の負託を受けている議員だけがお手盛りの報酬引き上げを議決することは問題だ。

賛成討論

西川晃

**後継者を育てる**

議員報酬、特別職給料は県内でも最下位だ。議員定数も2人削減しており、後継者を育てるためにも上げるべきだ。

反対討論

武智龍

**県民所得最下位の縮図**

隣がベントツを買ったので自分もベントツを買うというのはいかがなものか。

町民からは「県民所得最下位になった高知県の縮図が越知町だ。今なぜ上げるのか」という意見もあり、この際、議員自らが身を削るべきだ。

賛成討論

市原静子

**若い議員に託すため**

5人の報酬等審議会委員の全員一致の結果を守り、町の将来のために、若い議員が必要だが、低い報酬では仕事を持つ若者には託せられない。

引き上げを自覚して、もろく報酬に対して仕事を全うするべきだ。



# 町長給料、議員報酬等

## 否決 町長・副町長の給料引き上げ

反対討論

齋藤政広

賛成討論

藤原俊夫

他町村の比較は関係ない

今しか上げられない

他町村との比較は町民には関係ない。

県内の5000人から1万人の町村では最低の給料だ。

ただし「県内最低は気の毒だが、上げるにしても、もう少し低額で段階的に」という意見があったことを付け加える。

県の町村会会長も務め、色々な事業も取り入れている。今の時期でないと上げることができない。

## 否決 教育長の給料引き上げ

反対討論

齋藤政広

賛成討論

西川晃

他町村の比較は関係ない

一般職員より低い年収

他町村との比較は町民には関係ない。

一般職員より低い年収で教育行政はやれるとは思えない。

ただし、教育長の給料は一般職員との年俸に差があると聞くので、この解消は検討課題である。

町の将来を考えたとき、全員協議会でも議論したように賛成する。

## 可決 委員等の報酬引き上げ

農業委員、教育委員、監査委員の報酬引き上げは、討論はなく、賛成9人、反対2人で可決しました。

役職	現行	改正案	結果
議長	224,000円	243,000円	否決
副議長	184,000円	199,000円	
常任・議運委員長	170,000円	184,000円	
議員	165,000円	179,000円	
町長	610,000円	678,000円	否決
副町長	521,000円	579,000円	
教育長	488,000円	543,000円	否決
農業委員会会長	年額 221,000円	年額 239,000円	可決
〃 会長職務代理者	〃 181,000円	〃 196,000円	
〃 委員	〃 165,000円	〃 179,000円	
教育委員会委員長	〃 242,000円	〃 262,000円	
〃 委員	〃 165,000円	〃 179,000円	
議会選出監査委員	月額 24,000円	月額 27,000円	
識見監査委員	〃 25,000円	〃 28,000円	

改正案	賛成	反対	結果
議員報酬	市原、片岡(久)、西川、藤原、寺村	高橋、武智、齋藤、岡林(学)、山橋、片岡(清)	否決
町長、副町長の給料	市原、片岡(久)、西川、藤原、寺村	高橋、武智、齋藤、岡林(学)、山橋、片岡(清)	否決
教育長の給料	市原、片岡(久)、西川、藤原、寺村	高橋、武智、齋藤、岡林(学)、山橋、片岡(清)	否決
農業委員、教育委員 監査委員の報酬	市原、高橋、武智、齋藤、西川 岡林(学)、藤原、山橋、寺村	片岡(久)、片岡(清)	可決

# 県内一の介護保険料

基準額（月額） **6,235円**（1,710円の引き上げ）

65歳以上の介護保険料

介護保険料は3年ごとに見直され、必要な介護費用の見込み額を基に高齢者率や所得の分布、交付金の見込み額、徴収率などを勘案して算出している。

保険料が増えた要因は、要介護者の重度化やサービス利用者が増え、平成21年度から介護費用が大幅に増額した。

また、23年度に廃止予定だった介護療養型医療施設が29年度まで延びたことやグループホームが増えたことなどが挙げられる。

所得段階	保険料		基準額との比率	
	年額	およその月額		
第1段階	37,410円	3,118円	0.50	
第2段階	37,410円	3,118円	0.50	
第3段階	56,120円	4,677円	0.75	
第4段階	軽減	63,600円	5,300円	0.85
	基準額	74,820円	6,235円	1.00
第5段階	93,530円	7,794円	1.25	
第6段階	112,230円	9,353円	1.50	

平成24年度から65歳以上（第1号被保険者）の介護保険料が県内で一番高い保険料となる。

平成24年4月1日施行（賛成・全員）

**藤原俊夫議員** 24年度の第1段階から第6段階の対象者は。

**岡林住民課長** 第1段階が57人、第2段階が670人、第3段階が715人、第4の軽減が266人、基準額の人356人、第5段階が448人、第6段階が138人を見込んでいます。

## 職員の定年退職

職員は定年の60歳になっても、その年度の3月31日まで勤めることになつていたが、誕生日になれば退職することができるとのこと。

平成24年4月1日施行（賛成・全員）

**山橋正男議員** 現在、実施している市町村は。

**大原総務課長** 全域調べていないが、佐川町や中土佐町などが行っている。

## 地域おこし協力隊員を招く

平成24年度に着任する地域おこし協力隊員の報酬月額を16万5000円とする。

平成24年4月1日施行（賛成・全員）

**山橋正男議員** 募集内容と雇用年数は。  
**小田企画課長** できれば、都会の方に3年くらい居てもらいたいと考えています。

## 町税の改正

平成25年4月1日以後に売り渡された製造たばこの税率を1000本につき5262円、旧3級品の紙巻きたばこは1000本につき2495円とし、都道府県たばこ税から町たばこ税へ財源移行する。

平成24年4月1日施行（賛成・全員）

## 桐見川小学校を町立公民館に

桐見川小学校の廃止に伴い、同施設を町立桐見川公民館とする。



町立公民館で再出発

平成25年1月1日より退職所得に掛かる個人住民税を10%減額する特例を廃止する。

東日本大震災復興の財源確保のため、平成26年度から35年度まで、個人住民税の均等割を、現行3000円を3500円とする。（賛成・全員）

# 議員定数

## 12から10へ

同規模人口議会の議員定数や住民懇談会での意見などを踏まえ、議会改革調査特別委員会（委員長・武智龍）や全員協議会で検討し、現在の定数12人を次の選挙から2人減らして10人とすることを全会一致で可決しました。

（任期満了は平成26年8月16日）



### 町営住宅の入居資格

町営住宅の入居条件として、所得制限を一般世帯では月額15万8000円を上限とし、60歳以上や障害のある人のいる世帯は21万4000円を上限とする。

また、税金の滞納や暴力団員でないことも入居資格に定める。

平成24年4月1日施行  
（賛成・全員）

### 教育長の給料の審議

教育長の給料を、町長・副町長・議会議員の報酬等の額と同様に、特別職報酬等審議会の意見を聞くものとする。

平成24年4月1日施行  
（賛成・全員）

こんなことが決まったぜよ

### 過疎計画の変更（主な事業内容）

施策区分	事業内容	事業費
交通通信体系の整備等	桑敷地区携帯電話等エリア整備事業	7794万円
	中大平・佐之国地区携帯電話等エリア整備事業	2500万円
生活環境の整備	浄化センター（下水処理場）の長寿命化事業	7015万円
	林屋敷団地（仮称）建設事業	8億6400万円
	上水道・今成簡易水道統合整備工事	6760万円
	防災備蓄倉庫	2380万円
教育の振興	ヘリコプター緊急離発着場整備事業	1200万円
	本の森図書館耐震補強・増改築工事	4680万円

過疎地域自立促進計画（平成22—27年度）の変更

各事業の実施年度や事業費等の変更および新規事業の追加など。（賛成・全員）

### 過疎計画質疑

**斎藤政広議員** 桑敷地区の携帯電話等エリア整備事業費が1800万円から7794万円に増えているが。

### 大原総務課長

以前はアンテナ部分だけが国の補助対象だったが、制度が変わり、アンテナまでの送電線を含め、全部が補助対象となった。

### 岡林学議員

観光費のイベント補助事業が420万円から720万円に増えた理由は。

### 小田企画課長

「によどかあにばる」と「コスモスマつり」が30回記念となり、記念タオルやちようちんの増設、夜間のライトアップなどを計画している。

### 斎藤政広議員

### 交流事業の内容は。

### 韓国国際

24年度は高橋教育次長 中学2年生の修学旅行で、生徒の負担を除いて、引率の先生と支援員の経費に過疎債を充てる。

### 山橋正男議員

### 越知小

中学校給食共同調理場工事の計画が平成25年度から1年延びた理由は。

### 高橋教育次長

3区の林屋敷団地の建設があるため後回しとなった。

# 町政をたぐす

## 一般質問

3月定例会では7人が一般質問を行いました。  
会議録はホームページと議会事務局でご覧できます。

平成23年度補正

23年度一般会計44億1074万円

デジタル防災行政無線整備費など  
6881万円の減額

片岡清則・・・14  
① 株ソニアを民間へ売却は寝耳に水だ  
② 避難所や食料の備蓄は林道、町道の道路整備

武智龍・・・13  
① 横島小学校の活用計画は中山間対策の「集落活動センター」の設置は  
② 24年度の具体的取り組み

高橋文一・・・16  
① 消防団に赤バイク導入を入札指名は町内業者に  
② 年度末の職員採用  
③ GPSで行方不明者捜索

斎藤政広・・・15  
① 黒森山の植樹活動に町民が少ない  
② 観光地の案内人養成講座  
③ 旧芸北町との交流

山橋正男・・・18  
① 株ソニアは任期中に解決できるか  
② 町道鎌井田桑藪線の改良  
③ 明治地区の県道改良計画  
④ 3月の職員採用試験

岡林学・・・17  
① 誰でも乗れるバスを  
② 県道柳瀬越知線の計画は  
③ 消防庁舎の建設負担金

市原静子・・・19  
① レジ袋のようなごみ袋に  
② 肺炎球菌ワクチン接種に  
③ 公費助成を  
④ 福祉ガソリン券の利用

### 平成23年度補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	△6881万円	44億1074万円
特別会計		
下水道	△115万円	1億5329万円
介護保険	5842万円	10億8139万円
後期高齢者医療	100万円	1億317万円

#### 一般会計の主な補正内容

- ▼町道今成深瀬線改良工事ほか5路線の修繕工事に1552万円を追加。
- ▼県知事選挙費586万円の減額。(無投票)
- ▼デジタル防災行政無線整備工事を6010万円減額。(入札減)
- ▼越知中学校屋内運動場・プール改築工事設計監理委託料を1258万円減額。(入札減)

#### 山橋正男議員 横島小学校改修基本設計の168万円の減額は中止ということか。

小田企画課長 中止でなく年度内にできないというので、地元の話がまとまれば予算計上する。

#### 今月の表紙



桜満開の下、町内の小・中学校の入学式、幼稚・保育園の入園式が行われた。子どもたちは保護者に見守られながら、少し緊張気味に学校生活をスタートした。

# 活用計画はどうなった

はしごは外していない／町長



武智龍 議員

一般質問

**問** 昨年5月の議会だよりでは、町は人を集めて意見を聞くということだったが、もう1年になるが一体どうなっているのか。

**吉岡町長** 一堂に集めて聞いていないが、地元の人から「縮小した形で」という話があり、現在に至っている。

**問** 活用計画は、平成20年度から住民が主体となり、町との協議も含め、



休校校舎を使って関西学院大の小西教授と学生たちと横島地区民との交流会は今年で3回目となる(3/26)

**視察や検討会などを20回以上重ねて作成したものだ。**  
地域の人は「はしごを外された」と落胆している。今後の展望は。

**吉岡町長** 計画は金額が大きく、リスクもある。絶対大丈夫だという確信が欲しい。  
決してはしごを外したわけではなく、地元がまとまればいつでもスタートする。

## 中山間対策

### 集落活動センターは

#### 25年度以降に設置／企画課長

**問** 県は24年度から中山間地域の課題解決のため、市町村の休校校舎などを活用した「集落活動センター」の設置やその活動を行う人材の支援を実施する。

**県の説明を受けて、課長会等に上げたのか。**

**小田企画課長**

昨年末ごろ県から説明があったが、事業内容が煮詰まっていなかったので、町長と副町長には話したが各課長には話していない。24年度に検討し、25年度以降に設置したい。

**問** この事業は県内の市町村が同じスタートラインに立っている。町から県に事業内容なども提案できる。

**職員と協力して、本町再生のために活用する考えはないか。**

**岡副町長** 県の内容を認めて進めたいと思っていた。今後、各課長と協議し、本町で活用できる方法を検討したい。

### 新年度の取り組み

**問** 24年度の地域づくりに対する考えと具体的な取り組みは。

**吉岡町長** 基本的には皆が安心・安全で、住んで

良かったと思える町づくりだ。そのためすべてが動いている。

#### 各課長の答弁

新たな農作物導入への支援、基幹作物の推進、有害鳥獣対策、生活道・防護柵・安全施設などの整備。

きたえん坊將軍などの体操の普及拡大、あったかふれあいセンターの増設、検診率の向上を図る。

飲料水供給施設整備と中山間地域の水の確保に取り組む。

緑のふるさと協力隊の継続と新たに地域おこし協力隊を招く。

災害時の情報伝達施設の整備や備蓄倉庫の建設など。

中学校の屋内運動場・プールの改築工事、本の森図書館の整備、越知中学生の韓国派遣、小・中・幼稚園に防災ヘルメット購入など。

# 民間へ売却は寝耳に水

## 仁淀川町に譲ることと同じだ／町長



片岡清則 議員



ソニア施設は「佐川集材センター」として仁淀川林産組合が引き継ぎ

**問** 12月定例会では「仁淀川林産組合からは正式な購入の申し入れはない」と言っておきながら、1月31日に「ソニア製材工場を7200万円

で仁淀川林産協同組合に売却することを株主総会が全会一致で決めた」と新聞に出たのは寝耳に水だ。  
議会は、仁淀川町に赤字も含めて譲ることを了承したが、仁淀川町の入らない民間業者の話は一度も聞いていない。

仁淀川町から林産協同組合との話がまとまったことで、株主総会を開いて売却を決めた。報告は議会との日程が合わなかったため3月8日になった。

報道が先になったことをどう考えるか。また、出資金を使い果たした責任をどう感じているか。

**吉岡町長** 民間業者と仁淀川町が話を進めていることは報告している。

林産協同組合に仁淀川町が補助金と貸付金を出すとということだから、仁淀川町に譲ることと同じと判断している。

社会的責任はあるが、

### 防災対策

## 避難所や食料の備蓄は

### 備蓄倉庫を建設／総務課長

**問** ①南海地震が近いと言われているが、避難所や食料等の備蓄は十分か。

②桐見川小学校のヘリポートの完成はいつか。

③桐見ダム大桐広場にヘリポートはできないか。

現在の備蓄は水だけで、500ミリリットルのペットボトル1万3800本である。  
新年度に備蓄倉庫を建設し、必要な食料や水、生活物資を確保する。  
②敷地造成を町の作業班が始めた。  
造成後に舗装工事等を行い、24年度後半に完成する。

法的責任はないと思っており、高吾北の林業発展のために、うまく引き継ぐことが、果たすべき一番の責任である。

## 道路整備を問う

答弁・小田産業建設課長

**問** 林道桐見川白石川線の西浦谷川に架かる橋の改良と堂林までの舗装の補修を。

**答** 橋の改良は仁淀川町との管理組合議会で現場を見て検討する。舗装補修は24年度から計画している。

**問** 堂林の新設歩道は手すりのない所があるので、早急な対応を。

**答** 期待に沿うよう対応する。

**問** 町道山室線の大樽の滝の上で舗装が割れて危険な状態だ。

**答** 早急に対応する。

**問** 町道等の維持管理業務を地区民から建設業者に代えたが、元に戻せないか。

**答** 労働基準監督署の指導により、元に戻すことはできない。

### 大原総務課長

①各集落

の集会所や公民館等を一時避難所として59カ所予定し、小中学校などを拠点避難所とするが、機能が十分でないものもあり、今後、安全な施設整備を図っていく。

③県の消防航空隊によると、山が迫った谷間で気流が不安定なため、離発着は難しいとのことだ。



齋藤政広 議員

3月20日に行われた植樹活動



黒森山植樹

町民の参加が少ない

原点に戻ってPR／町長

**問** 黒森山植樹は、仁淀川漁協と森と緑の会が主催で実施しているが、町はお手伝い程度なのか。本町の参加者は回を重ねるごとに少なくなり、何をしているのか知らない人もいますが、町民への

ピーアールは十分か。また、黒森山への林道沿いの広場の拡張整備はできないか。

**吉岡町長** お手伝いとは考えていない。水源地を守るため植樹をしているが、今は仁淀川漁協が力を入れてくれている。

町民の理解が十分でなければ、原点に戻ってピーアール方法を考えた

い。

**小田企画課長**

町民への周知は十分でなかったかもしれないし、植樹参加の受付等にも分かりにくい面もあった。

今後は、黒森山の写真等も利用して周知することを検討したい。

林道沿いの広場拡張は他町の土地でもあり、今後研究する。

観光ガイド

案内人の養成講座を

博物館と共同で実施／企画課長

**問** 現在、観光地等の案内はごく少人数で対応している。将来はジオパークの案内や急増している観光ツアー対策も急務だ。町が案内人を養成できないか。また、職員は、町のことはある程度知っておくべきと思うが、職員研修を考えているか。

**小田企画課長**

県の地域アクシヨンプランの総合的な体験型観光の計画に入っており、博物館と共同で案内人講座を開く。合わせて案内資料も作成する。

職員研修は年1回

**吉岡町長** 横倉山への登山者が多いことは承知している。

仁淀川流域観光協議会のモニターツアー等も開催されており、案内人養成の必要性は感じている。

また、職員研修は少なくとも年1回は実施したい。

●ジオパーク

地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園。考古学的・生態学的・文化的価値のある地域を定め、地球科学の普及や観光の対象として地域の活性化を目指す。県内では室戸ジオパークが昨年9月に世界ジオパークに認定されている。

旧芸北町との交流は

**問** 旧芸北町（現北広島町）との今後の交流について、副町長、教育長は現地を訪問したが、結果はどうであったか。

児童交流最後の打合せ

**岡副町長** 2月に最後の児童のスキー交流があるので、その事前打ち合わせのため、秋に訪問した。

民間交流は続ける

**小田企画課長** 北広島町は、定住と交流を柱にしており、児童交流は終わったが、その他の交流は続けたい意向であった。

2月のスキー研修には町長も同行し、両町長が話し合っただけの原点に戻り、牧野富太郎関係やカキツバタ祭りなど、いくつかの提案があり、民間交流を続ける意思確認を行った。



高橋文一 議員

消防団

赤バイクで活動広がる

消防協会に要請／町長



定期的な防災パトロールは消防団の大事な役目

**問** 消防団に赤バイクがあれば、災害時などの活動範囲が広がると思うが、配備できないか。また、旧タイプの重い小型動力ポンプを軽いものに変えられないか。

**吉岡町長** 赤バイクは消防団から要望もあり、消防協会に10台くらいを要請している。

**大原総務課長** 赤バイクは、高知市、いの町、土佐市、須崎市が配備している。

機動性はあるが、有効性と運転できる人を把握したい。

小型動力ポンプは、平成22年度に越知に3台、今成に1台備えた。25年度は野老山と明治に各2台の最新式を配備する。

指名競争入札

町内業者だけで経済効果を

一概に町内業者が良いとは言えない／町長

**吉岡町長** 過去から指名しており、これを変える問題もある。一概に町内業者だけが良いとは言えない。

中学校の屋内運動場とプールの改築工事は、Aランク業者の指名競争入札だが、町外業者は基準を少し高めに行っている。

**問** 年度末に迫ってからの職員募集の理由は、また、出向から戻る職員や臨時職員での対応はできないか。

**退職者との調整** 岡副町長 出向から戻る職員もいるが、新たに採用する職員もいる。

採用は予定していなかったが、数年後に職員の調整のために採用する。

臨時だけでは難しい  
**吉岡町長** 新しい事業が飛び込むなどフルに働いている。  
臨時職員だけでは難しい問題もあるので、将来に向けて仕事を引き継ぐ必要がある。

その他の質問

**問** 行方不明者の捜索のため、GPS機能付きの器具を導入できないか。

**答** 認知症で徘徊行動のある人が、器具の管理ができるのか疑問はあるが、検討してみたい。

●GPS(ジーピーエス)  
アメリカが打ち上げた人工衛星からの電波で、自分のいる場所を確認する方法。  
受信機には単体で使うものやカーナビに接続して使うもの、携帯電話に受信機能を持たせたものなどがある。



## バス運行

# 誰でも乗れるバスに

## 公共交通検討会で協議中／教育長



岡林学 議員

一般質問

**山中教育長** スクールバスは補助金で購入しており、原則的に通学以外は認められない。文部科学省や町・県の教育委員会が認めれば可能だが、いろいろな要件

**問** 病院への見舞いや買い物などの生活の足がなく、困っている住民が多い。町内を回っているスクールバスや患者バスに何とか乗れるようにできないか。



高齢化が進み山間地の交通手段が大きな課題  
スクールバスの柔軟な運行が求められている

を満たす必要がある。現在、町の公共交通検討会で協議中である。

**岡林住民課長** 患者バスも医療機関の証明がなければ乗れないが、強い要望もあるので前向きに検討する。

**吉岡町長** 生活の足に困っているのは分かるが、今は検討している段階なので、もう少し待ってもらいたい。

## 県道柳瀬越知線

# 改良計画の進み具合は

## 3月にルートを決定

### ／産業建設課長

**問** 県道柳瀬越知線は、3月には設計ができ、女川地区に説明するとのことだったが、その後の進捗状況は。

**知事も状況を理解**  
**吉岡町長** 住民と県、町で何度も話し合い、一定の構想はできている。知事と土木部長も現地を見て豪雨時の状況を分かっただけだった。

利用者からは現道の橋がなくならないと不便なので、残してほしいとの要望があり、県に話をしてる。

**小田産業建設課長** 2月17日に女川地区で県が説明を行い、四つの案が示されたが、地区として絞ることが難しいため、県が最終的なルートを決めて、3月末に説明をしてもらう。24年度はルートを決定して用地交渉と測量を行うが、町も協力をする。

## 消防庁舎の建設

**問** 老朽化した高吾北広域消防庁舎の改築が4億8238万円で計画されている。

本町と佐川町、仁淀川町の負担額はいくらか。

町負担は4836万円

**大原総務課長** 本町の負担額は、4836万円です。施設等整備基金から負担する。

佐川町は8299万円、仁淀川町は6127万円である。

残りは、広域事務組合のふるさと市町村圏基金から2億7700万円、広域消防予算から1277万円である。

# 任期中に解決できるか

処理は平成27年12月になる／町長



山橋正男 議員

**問** ソニア製材工場の一部を仁淀川林産協同組合に約7200万円で売却するが、不動産鑑定士による金額か。また、鑑定士はソニアが依頼した人か。  
土地、建物、機械類の三つに分けられるが、それぞれ専門の鑑定士か。  
一括で売却せず、競売にする考えはなかったか。

**答** 合わせて約1億7790万円である。そのうち佐川町にある単独所有分の土地を2486万円で売る。建物は約2980万円、機械類は約1730万円で売る。

**吉岡町長** ソニアが依頼した鑑定士による価格だ。競売は危険性が高いのでしなかった。

**問** 売った金の使い道はどのようになるのか。また、任期中に解決できるのか。

**吉岡町長** 借入金の返済や滞納している固定資産税の支払いなどをして、残れば持ち株比率で株主に配分する。

**岡副町長** 土地、建物は鑑定士によるが、機械類は業者に見積もりを依頼して決めた。

**問** 帳簿上の土地価格と売却額は。また、建物と機械類の売却額は。

**岡副町長** 帳簿上の土地価格は、仁淀川森林組合との共有分、単独所有分、仁淀川町用居の山林で約8479万円。敷地造成費の9313万円を

森林組合に貸している金は一括で返してもらいたい。今までもおりなら、この処理が平成27年12月になる。

町道鎌井田桑敷線

## 天神橋からの改良は

明治中学校からのルートを検討  
／産業建設課長

**問** 町道鎌井田桑敷線の鎌井田天神橋から黒石小学校への近道までの間はカーブが多く道幅が狭い。改良計画はどうなっているか。

**答** 現道は急峻な地形で改良が難しいため、明治中学校から黒石小学校近道付近へのルートを検討している。

**小田産業建設課長** 地域の区長の連名で要望書が出ている。

**答** 平成24年度に概略設計を行い、地権者の承諾が得られたら、財政状況を見ながら進めたい。



天神橋から文化橋付近は急峻で改良が難しい

## 明道地区の改良は

**問** 県道伊野仁淀線の鎌井田日の瀬・片岡間と片岡・黒瀬間の改良計画はどうなっているか。

**答** 現道拡幅を進める

**小田産業建設課長** トネルは事業費が膨大になり、完成までに時間を要するため中止になった。今後は、景観等に配慮し、現道拡幅を進めるとのことだ。

### その他の質問

**問** 10月頃の職員採用試験が3月になったのはどうしてか。

**答** 緊急を要する特例で、ここ数年で辞める職員の対応もある。

## 指定ごみ袋

# レジ袋のよう使いやすく

## 広域事務組合に提案／環境水道課長



市原静子 議員



レジ袋のようすれば持ちやすい

**問** 可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの指定袋は取っ手がなく、不燃ごみの袋は結ぶところもない。

量販店などのレジ袋のようにすれば、便利で使いやすいが、改善できないか。

### 北添環境水道課長

袋に取っ手が付いていないのは、重い物を入れると破れるためだが、今後、広域町村事務組合の協議で改善を図るよう提案する。

ただし、改善する場合は在庫分がなくなってしまう。

## 肺炎球菌ワクチン

# 予防接種に公費助成を

## 国・県の動向を見て判断／住民課長

**問** 高齢者や機能障害の人たちを守る肺炎球菌ワクチン接種は、一部の病気を除き保険適用にならず、6000円から8000円と高額である。

予防効果の高さから、全国660の市町村が先行して公費助成を行っているが、取り組む考えはないか。

### 岡林住民課長

国は、定期接種を視野に入れた予防接種法の改正を検討しており、県は、早期位置付けを待っているが、長期化すれば独自の支援策を検討することだ。町としてはその動向を見て判断する。

### ●肺炎球菌

身の回りにいる細菌やウイルスなどの微生物の一つで、健康な人の鼻やのどによく見つかる。最近では、抗生物質が効きにくい耐性菌が出現し、高齢者や慢性の心臓疾患、呼吸器疾患、腎不全、肝機能障害、脾機能不全、糖尿病の人などは、肺炎などの感染症にかかりやすく、病状も重くなる。

## 福祉チケットを利用しやすく

**問** 福祉ガソリンとタクシーチケットの助成は、さまざまな制約があると思うが、利用者の不便を解消するため、同居以外の家族でもガソリンチケットが使えるようにできないか。

### 希望に沿いたい

### 岡林住民課長

重度の障害のある人に、通院などのため、タクシー券とガソリン券のどちらかを選んでもらって、500円券を24枚助成している。ガソリン券は、本人もしくは同居の家族が持つ車に限られているので、できるだけ利用者の希望に沿うように変更したい。

# 町内の工事状況を視察調査



①



②



③

- 町内各地区で改良工事が進む。
- ① 町道山室線(山室)
  - ② 町道今成深瀬線(栗の木)
  - ③ 町道柴尾宮地線(宮地下)



狭い道も側溝改修で通りやすくなる  
(町道鎌井田桑敷線)



浅尾橋冠水警報システムは、道路利用者に沈下橋の状況を知らせる画期的な装置



集落道の整備は、自動車は通行できないが、バイクや車いすは可能となり、郵便配達や訪問介護などにも活用できる(堂林地区)



水の確保が格段に向上し、保守点検も楽になった中大平の給水施設  
取水口は落ち葉や砂利が詰まらない装置・ウォータースクリーン(写真下)



産業建設常任委員会(委員長・斎藤政広)6人は、2月17日に町内の工事現場などを視察調査しました。

町内全域で大小さまざまな工事が実施されていますが、今後は事業規模の縮小や補助金等の減額も考えられるため、より経済的で効果的な事業を進め、地域の安全と生活環境の改善を図られることを期待します。

# 耐震化が完了 安全な教育環境に

総務教育常任委員会(委員長・藤原俊夫) 6人は、2月10日に町内の小・中学校、保育園、幼稚園を視察調査しました。各施設は、耐震改修が完了し、安心して勉強ができる環境になっています。なお、中学校の体育館とプールの耐震改修も早期の完成が望まれます。



## 《小学校》

学びの協同体による授業の改善に取り組み、子どもたちが関わり、子ども同士が教える形態による温かい学級づくりに努めている。

児童や保護者、教職員へのアンケートで、満足度や課題を分析して学習意欲や学力の向上につなげている。



《幼稚園》  
保護者が保育を体験することで、子どもとの関わり方や保育職員との相互理解、保護者同士のつながりが深くなるといった効果が生まれている。  
⬆️ 耐震化が完了、⬆️ 玄関前の段差が危ない

《保育園》  
ALITの訪問は園児の期待も大きく、指導も上手で、大変良い効果が生まれている。  
園庭が狭いため、拡張が積年の課題である。



## 《中学校》

互いの個性を認め、教え合い、学ぶ意欲や楽しさを感じられる生徒像を目指し、全国学力テストは平均点を上回っている。

各地域のイベントにも参加し、社会教育との連携にも積極的に取り組んでいる。

部活は、部員数が足りない状況で、今後の検討が迫られている



パソコン教育も充実

# 地域の願い!



野老山地区は43人が参加し、水道や地域のバス運行などを議論

## 中山間地の課題を議論

2月20日と21日に、野老山地区と大桐地区で住民と議員の懇談会を開催し、野老山地区は43人、大桐地区は18人が参加しました。

議員は2班に分かれ、平成22年度決算や議員報酬、議員定数、議員の活動状況を説明し、住民からは水道問題、バス運行などの中山間地の切実な問題について意見や要望がありました。

### 野老山地区

## 有料でかまん。誰でも乗れるバスに

**問** 定期バスは必要だが、大き過ぎないか。

**答** 旅客運送上29人と決まっているようだ。

**問** 患者バスは通院する人しか乗れないのか。

**答** もつたいないとの声があり、今後の課題だ。

**問** 病院へ行くたびに証明がいるが、年間パスなどにできないか。

**答** 町に対応できるか確認する。

**問** 町がバスを走らせることはできないか。スクールバスも一緒にできないか。

**答** 仁淀川町や、いの町は有料で走らせている。地域の事情や経営の問題もあり、住民が一番利用しやすい方法を考える時期になっている。

**議員から質問** 患者バスは無料だが「誰でも乗れるなら有料でよい」という人もいるが。

**参加者** それはかまん。

## 全域の水道整備を

**問** 地域全体の水道を整備してもらいたい。

**答** 町の担当に聞くと「仁淀川から汲み上げるのが一番だが、地区の9割以上が賛同しないと難しい」とのことだ。

**問** 八ヶ窪にきている水を使えないか。

**答** 農業用水であり、水利権の問題もある。

**問** 夏には水が出ない。

**田んぼにも取れない。雨のときは濁る。**

**答** 大掛かりだと水量や費用、工事期間などの問

題がある。  
今は小さい地区でも良い施設ができています。

**問** 個々に言っても始まらないので、みんなで意思統一したい。

**答** 水道の建設委員会などを作って、町内の施設を見て、地域の考えをまとめてもらいたい。

## 議員数を減らせ

**問** 議員数を、2人くらい減らせないか。

**答** 次期改選時から2人減とする改正案を、3月議会で提案する。

## その他の質問や意見

▼高齢者の独り住まいの見守り対策を。

▼高齢者でも楽に農業ができる作物はできないか。

▼災害時の山崩れなどの対策は。

▼農協周辺の道の段差の解消と倉良からの道の拡張が止まっている。

# 水と足の確保が

## 大桐地区

**議員が減ると声が届かない**

**問** 議員報酬や議員定数はどうやって決めるのか。

**答** 議員報酬は特別職報酬等審議会で協議され、議会が決定する。

定数は、3月議会で次期改選から10人にする。

**問** 議員が減ると、まず田舎は見捨てられるような気がする。

**答** ただ減らせばよいわけではないが、近隣町村や今の財政状況などを考えて、次は10人とする。

**問** 地区からの議員がいなくなれば、陳情などもできなくなる。

**答** 地域の声が伝わりにくくなるので、こういう会を始めた。



大桐地区は18人が参加

## 水は濁るし管理道は危ない

**問** 水道の取水口を直してもらったが、雨のたびに濁る。

**答** 中大平は、ろ過タンクを二つにして良くなっている。タンクを追加できるものか担当に伝える。

**問** 取水口への道が危険で管理が大変だ。町は他の地区と一緒にしてはどうかとのことだが、難しい。

**答** 地元で話し合っけて町に要望してもらいたい。

## 森林政策の後始末を

**問** 高齢化で水源地対策としての間伐もできないが、補助金で森林組合へ頼めないか。

国が植林を勧めたのだから「後始末をしろ」と国へ言ってもらいたい。

**答** 制度が見直されて負担が必要になる。

水や木の問題は国へ届くようにする。県は、平成24年度予算で中山間対策も考えている。

## 高齢者に送迎バスを

**問** こういう会があっても高齢者は足がない。送迎バスなどの対応を。

**答** 地域の声を聞き、我々の気持ちも伝えたいので、できるだけ参加しやすいようにする。

## ダンプの交通マナー

**問** 交通マナーの悪いダンプの運転手がいる。注意してもらいたい。

**答** 採石業者は指導しているようだが、事例があれば役場へ連絡してほしい。

## その他の質問や意見

▼ヘリポートはいつごろできるか。

▼下ノ谷から対岸に渡る橋の拡張ができないか。

▼西浦谷に架かる橋の拡張は、土地の承諾はした

が工事はいつごろか。

▼南ノ川の道は小日浦まで上がって、下ノ谷までつなげてほしい。

▼災害が起きないと工事をしないが、起きるまで

にやっってもらいたい。

# 7年連続入賞

## 全国町村議会広報コンクール

議会だより第96号(平成23年5月1日発行)が、第25回町村議会広報全国コンクールで、応募総数211紙の中から「奨励賞」を受賞しました。本町議会だよりは、平成17年第20回コンクールで奨励賞を受賞してから7年連続の入賞です。いまだにベスト4の壁は越えられませんが、より一層研さんを積み、読みやすく親しんでもらえる広報紙づくりを励みます。

## 全国入賞議会

最優秀賞	山梨県昭和町議会	奨励賞	岩手県金ヶ崎町議会
特別優秀賞	静岡県長泉町議会	//	岩手県岩泉町議会
優秀賞	宮城県美里町議会	//	宮城県七ヶ浜町議会
//	秋田県美郷町議会	//	宮城県大和町議会
優良賞	岩手県雫石町議会	//	宮城県大郷町議会
//	宮城県利府町議会	//	石川県志賀町議会
//	山形県川西町議会	//	愛知県大口町議会
//	群馬県吉岡町議会	//	京都府南山城村議会
//	石川県津幡町議会	//	<b>高知県越知町議会</b>
//	愛知県幸田町議会	//	沖縄県北谷町議会
表紙フォトグランプリ賞			
愛知県武豊町議会			



愛媛県松前町議会と四万十町議会の  
広報委員16人が視察来町(2/14)

## 議会広報委員の視察交流増える

最近、近畿、九州、中・四国の市町村議会から広報編集の視察依頼が増え、本町議会広報委員にも良い刺激となっています。平成23年度は7議会60人が見えられ、紙面構成や写真撮影などに活発な意見交換を行いました。

## 消防庁舎新築工事 4億8238万円

### 平成24年度予算

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	13億6216万円	4億5802万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	12億7069万円	△8761万円
	養護老人ホーム	1億1349万円	△203万円
	知的障害者更生施設	1億6859万円	△2360万円
	ふるさと市町村圏	3億2444万円	3億696万円
合計	32億3937万円	6億5174万円	



(2月28日)

### 諸般報告

救急出動は1493件で、65歳以上が72%。火災出動は15件で、死者1人、負傷者4人。防災ヘリやドクターヘリの要請は31回。養護老人ホームの待機者は3人。特別養護老人ホームは、重複申し込みを含め、管内、管外合わせて480人。衛生センターの各設備の改修工事を25―26年度に予定。



# あれはどうなっちゅうが？

## 仁淀川の利用は

(平成22年12月議会)

**高橋丈一議員** 河川の利用について、国土交通省が民間開放などの規制緩和をすすめる方針だが、どのように対応するのか。

キャンプ場やカヌーでアピール

**企画課長** 町内に6カ所のキャンプ場があり、カヌーやボート遊びなどで仁淀川を利用してもらう。

### 処理状況

## 映画や水質日本一で 知名度アップ

黒瀬キャンプ場にはログハウスやシャワー室を備え、観光協会がカヌー体験に取り組むなど、水質日本一も反映して利用者の増加が見込まれる。

映画やテレビで仁淀川の透明な流れや鎌井田沈下橋などが放映され、知名度アップにつながっている。

## 町長への警告決議を可決

片岡清則議員から、(株)ソニア問題に関して町長に対する警告決議案が3月定例会最終日(14日)に提出され、賛成6人、反対5人で可決しました。【決議書は原文のまま掲載】

町長の議会軽視に対する警告決議

提出者 片岡清則

賛成者 斎藤政広、山橋正男、高橋丈一  
岡林学、武智龍

株式会社ソニアは、平成23年度の本町議会全員協議会で協議の結果、全員の賛成により、仁淀川町に譲渡することになっていた。

しかし、平成24年1月31日付の高知新聞において、民間の事業者に譲渡し、3月末までに手続きを完了することが報道された。

平成23年12月5日の取締役会から平成24年1月30日の取締役会まで、譲渡に関する一連の動きについて、議会に対しもう少し丁寧な説明し、新聞報道で初めて知るといことがないよう、十分な注意を払うよう警告する。  
以上、決議する。平成24年3月14日

# 議会です こんにちは

# おち駅の人気者は90歳



中内福孝さん(90)は、奥さんの千代笑さん(83)と横倉で四季折々の野菜を栽培し、「おち駅」の産市へ1日ごとに出荷しています。

午前中に収穫して出荷の準備をし、午後3時ごろに愛車の動力三輪車で運んでいます。



「奥さんが作ってくわしは運搬係よ」と笑う

2台目の愛車は10年以上の付き合い  
自宅から15分で到着



お客さんや店員との  
会話が元気の源

プロックリーの世話に  
励む千代笑さん



**議会を傍聴しませんか**  
次の定例会は6月中旬の予定です。たくさんの傍聴をお待ちしています。  
3月定例会の傍聴者は延べ31人でした。

「駅からは『ネギが欲しい』とか『ニンジンを持ってきて』とか言われるが、野菜はすぐには育たんといいつつ「たくさんは作れんが、運動のために、あるものは持ってくるよ」と断ることはありません。

「腰も痛いけあんまりよう作らん。ここへ持ってきて、帰りにお寿司とイモ天を買ったら何しゅうか分からん」と笑いながら「医者にかかったことはない」とのこと。野菜づくりが元気の秘訣のようです。

「楽しみは鮎釣りくらいよ」と夏が待ち遠しそうですね。

いつまでもお元気でおいしい野菜で皆の食卓を賑わしてください。

## 地区懇談会

大勢のご参加をお願いします

## 5月24日(木) 午後7時から

## 保健福祉センター1階・会議室

### 編集後記

春は卒業、入学の季節である。  
小学校の卒業生は45人、入学生は35人。3月末人口は6386人で、ひと昔前を思うと信じられない減り方だ。  
これからの町の先行きをどうすべきか考えさせられる。

議会も時代の流れに即応すべく、住民懇談会を開くなどの改革を進めており、次期改選から定数を10人とした。

3月議会では、落ち込んだ経済状況を反映してか、町長や議員の報酬引き上げ案の否決という厳しい面もあった。

議会は常に住民からその活動が注目されておられ、しっかりと職務を全うしなければならぬ。

《斎藤》

- 編集・発行責任者  
議長 岡林 幸政
- 議会広報常任委員会  
委員長 岡林 学  
副委員長 斎藤 政広  
委員 武智 龍一  
委員 高橋 丈一  
委員 市原 静子
- ※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。